

## コロナ禍で高まる中小企業診断士への期待

一般社団法人兵庫県中小企業診断士協会  
会長 湯浅 伸一



新年あけましておめでとうございます。

いつもの年なら、健やかに新しい年を迎えられたことをことほぐあいさつを述べるべきなのですが、今年とはとてもそんな気分になれないのではないのでしょうか。昨年は、一生に一度経験するかどうか分からない、大変な年でした。「需要」と「供給」の両方が一気に消えてしまうという、事業主も我々のような支援者も、手の打ちようのない事態が起こりました。「何とかしたい」、けれど「何もできない」というジレンマに焦りを覚えた会員も多かったのではないのでしょうか。

### 信用保証承諾額が急増

さて、気になるニュースを2つ。

まず1つは、信用保証協会の保証承諾額の急増です。たまたま出張で訪れた徳島の地元紙に、昨年の理論政策更新研修で西口延良講師も取り上げていた、「捨てられる銀行」シリーズでおなじみの共同通信編集委員の橋本卓典氏のコラムが載っていました。それによると、2019年度の全国の保証承諾額が合計8兆9389億円だったのに対し、2020年は3~9月で25兆3200億円を突破したとのことです(2020年11月12日付「徳島新聞」)。

そこで、兵庫県の状況はどうかと、県信用保証協会の機関誌「保証時報」2020年11月号を見ると、「令和2年3月から令和2年9月における当協会の保証承諾実績は、52,300件、955,774百万円となり、前年同期比では、件数が324.9%、金額が369.8%と大幅に増加しています。全保証承諾に占める新型コロナウイルス関連の保証承諾は、件数構成比が86.8%、金額構成比が88.8%」との記述があります。当たり前ですが、兵庫県でも全国と同じような状況にあります。

さらに、橋本氏のコラムは次のように書いています。「08年のリーマン・ショック後に行われたのが返済猶予だったのに対し、コロナ禍では巨額の債務残高が膨らんだ点が決定的な違いだ。現時点では企業の資金繰りは

落ち着いていたが、いずれ重い返済負担がやってくる」。

もちろん、これらの数字は信用保証承諾額なので、そのまま企業の借入金と一致しているわけではありません。また「実質無利子で返済猶予があるなら念のために」と借りておいて、必要がなければ全額返してしまう事業主もいるでしょう。それらを差し引いても、数年後には、多くの企業、特に零細な飲食店などのサービス業はかなり厳しい状況に陥り、支援を求めることになるのではないのでしょうか。

### DX対応の可能性も

もう1つは、中小企業診断士制度に関わるものです。昨年10月6日に開かれた第14回経済財政諮問会議の席上、新浪剛史議員(サントリーホールディングス株式会社代表取締役社長)が、「中堅・中小企業の経営を担うことのできる人材の裾野を広げていくためにも、例えば、中小企業診断士の科目にデジタルを入れるとともに、(中略)この仕組みそのものをもう一度考えていただきたい」との発言があり、これを受けて梶山弘志議員(経済産業大臣)が「中小企業診断士の試験の活用、在り方というものも考えてみる必要があるかと思う」と答えたとのことです(全文は経済財政諮問会議のサイトに議事録が公開されているので読んでみてください)。

これについて連合会本部の野口正専務理事は、昨年11月に行われた近畿ブロック会議において「DX(デジタルトランスフォーメーション)にも対応できるような資格になるかもしれない」との情報を提供してくれました。

以上脈絡のないような話題を取り上げましたが、コロナ禍の中で中小企業診断士への期待は今後さらに高まり、それに伴って求められる能力も高まっていくことの裏付けになるという点では共通しています。最後に、兵庫県中小企業診断士協会は今年、一般社団法人となって10年になります。何らかの記念企画も考えていかなければなりません。会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

# 節目の年を迎えて



このコーナーでは、今年、更新10年・20年・40年と節目に当たる年を迎えられた会員の方に、これからの抱負やこれまでの振り返りを投稿していただきました。



## 吉松敏男 (1981年登録)

私が中小企業診断士の資格を取得したのは1981年で、今年で40年になります。65歳の6月まで川崎製鐵(株)、JFEスチール(株)にいましたので製造業に強く、産業機械業界、電機業界、および建設業界等にも通じています。現在、大阪府の組合等事業向上支援事業および中小企業基盤整備機構の実務支援アドバイザーなどに従事し、また大阪府事業承継ネットワーク登録専門家です。今年には中小製造業のコロナ後のビジネスモデルの革新について研究、支援を行って行きたいと考えています。



## 河野勝利 (2001年登録)

明けましておめでとう御座います。21世紀の幕開けとともに診断士登録を行ってから、早くも20年になります。あの阪神淡路大震災が本当に自分のやりたいことはと考え直す良い機会となり、その答えが中小企業の支援に行き着きました。これには父が経営者として苦勞していた記憶の影響が強かったと思います。人生80年。道半ばですが、生涯現役として、お役に立ちたいと思っています。誠実!健康!笑顔!人との交わりを大切に!本年もよろしくお祈りします。



## 西口延良 (2001年登録)

新年、あけましておめでとうございます。早いもので、資格を取得して20年が経過しました。振り返ってみると、資格の取得が私の人生の転機となりました。勤めていた銀行を退職し、中小企業支援機関への転職を経て、現在では独立診断士として活動しているところです。最近痛感していることは、当協会の皆様のご支援を受けて仕事のご縁をいただきました。感謝の気持ち一杯です。今年も中小企業の支援に微力ながら貢献してまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 福島 猛 (2001年登録)

新年明けましておめでとうございます。昨年は感染症に振り回された1年でしたが、その影響で「事業継続力強化計画」「事業継続計画(BCP)」支援ニーズが一気に高まりました。危機管理を日常の経営の中でいかに定着させて、着実に実行できるかを念頭に置いて多くの企業経営者の方々と取り組んでおります。「一社懸命 未来につなぐ経営を支援しています」の理念に向け、今年も努力させていただきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。



## 大西規生 (2011年登録)

中小企業診断士になり、10年目を迎えることができました。10年前と比べると自身も大きく変化し、様々な課題に対応できるようになりました。これは、これまでご縁をいただいた皆様のご支援・ご指導・研鑽の場をいただいたおかげと感謝しております。これからも皆様と研鑽をしつつ、各企業の問題解決や発展に寄与できればと考えています。今後とも変わらぬご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

**東松英司 (2011年登録)**

例えば自分の人生が大きく変わったこの10年。「よく頑張った」と自分を褒めてやりたいところですが、まだまだ頑張り足りないのが現実です。昨年は“コロナ騒動”の影響が大きく、自分自身を見つめ直すいい機会となりました。「現状に満足してはならない」「もっと自分の殻を打ち破っていかねばならない」と強く認識した次第です。本年もその流れを汲み、思い切りよく、攻めの姿勢を貫いていきたいと存じます。新HP、メルマガ、YouTube、ご覧いただけましたら幸いです。

**入退会者のお知らせ**

令和2年9月1日以降の入会者、退会者は以下の通りです。(敬称略)

入会者 吉盛茂貴、森本太、岡部清一、豊田孝治、田川智洋、永澤一博

退会者 吉本秀次郎、小林知彦、小島勉、佐藤悦弘

**協会だより****長年にわたる功績により湯浅会長が「兵庫県功労者表彰」を表彰される**

兵庫県では、県政の伸展、公共の福祉増進に功労があった方、その他広く県民の模範となった方を、知事が県民を代表して表彰しています。この度の表彰は、兵庫県功労者表彰として産業振興、福祉、文化、地域活動など23部門で特に功績顕著な方が表彰されています。

このほど、長く当協会でも活動され、産業振興部門で

顕著な功績があったものと認められることとなり、湯浅伸一会長が、兵庫県功労者として表彰されました。あいにくのコロナ禍により表彰式は中止となり、表彰状は、先ごろ当協会事務局において、湯浅会長に直接手渡されました。

**「事務サービス」のメニューが増えました**

カラー／白黒コピーや資料の印刷、業界情報の閲覧などが手軽に利用できる「事務サービス」は、これまでも当協会事務局で提供してきました。このたび、セミナーや研修会・講習会などで使っていただけのように、そのメニューを大幅に拡大しました。

カラー／白黒コピーや資料の印刷、業界情報の閲覧などが手軽に利用できる「事務サービス」は、これまでも当協会事務局

新しくご利用いただける機材は、ビデオカメラやガンマイク、三脚やプロジェクターのほか、ラミネータやパイプ椅子などです。ネット配信や録画・録音にも便利に使える機材を揃えましたので、必要な方は事務局までお問合せください。なお、ご利用は神戸市産業振興センター館内に限ります。

詳細は当協会ウェブサイト「事務サービス」でご覧いただけます。

**「機密文書処分サービス」を始めました**

このたび、株式会社ライオンロジスティックスの機密文書処分サービスを事務局で取り次ぐことになりました。会員の方もご利用いただけます。

事務局に事前にお申し込みいただき、文書を事務局までご持参ください。料金は1kgあたり100円(税別)です。お預かりの際に計量し清算します。詳細は協会公

式サイトにてご確認ください。

\*ご注意\*

- 郵送、その他方法での引き受けは致しません。
- 機密文書処理に関する証明書等の発行はできません。
- 持ち込みされた文書は、いかなる事情があっても返却できません。
- バインダー、クリップなどは必ず外して持参してください。

## アフターコロナ特集

## 新しい生活様式に対応したセミナー・研修のあり方

新型コロナウイルスによる感染症の影響は、第三波になって更に規模を拡大し続け、留まる様子が見えない状況が続いています。しかし、一方で「新たな生活様式」が定着し、人々はコロナとの共存を前提とした日常を取り戻してきたようにも見えます。

前回に続き本号では、インターネットを活用した非対面でのセミナーや研修について、必要と思われる基本的な内容について考えていきたいと思います。

## ■実施・参加のハードルが下がる

リアルなセミナー・研修では、専用の会場を準備する必要があります。また、講師にとっても受講者にとっても会場までの移動が必要となります。講義がネットを介して行えることになり、以前のように会場の調達や様々なコストに関するハードルがずいぶんと低くなっています。また、その結果として、運営にかかる固定費の大幅な削減も可能となり、小規模なセミナーや短時間のセミナーなど機動的な運用ができるようになりました。

その一方で、リアル開催とは異なる要件も見えてきました。ハードウェアや、ソフトウェアに相当するもの、それぞれについて以下に考えてみたいと思います。

## ■設備・環境について

基本的な設備として、前号と同様カメラやマイクなどを準備することになりますが、多人数と同時にコミュニケーションをとるためには、別途、配慮が必要となる事項があると考えられます。

## 1. 映像について

## ・カメラの位置(目線に関する注意点)

面談とは異なり、多人数に対して同時にコミュニケーションをとる際には、特にカメラ目線に気を配る必要があります。受講者を確認するためのモニターの位置がカメラの線上と異なる位置関係にあると、講師は頻繁に目線をそらすような動きとして受講者には映ります。一見すると、講師自身が集中力を欠いている、別のことを考えながら説明している、とも受け取られ兼ねません。多くの人が長く対面でのコミュニケーションに慣れてきているため、こうした心理は理屈ではなく感覚的に感じてしまうため、「なんとなく信用できない」「何か頼りない」との印象になってしまう恐れがあります。

対策としては、目線をモニターに向けたときにそれがカメラの線上にあるようにすることが考えられま

す。デスクトップパソコンであれば、カメラの設置位置をモニターの前に置く、ノートパソコンのカメラを使うのであれば、ノートパソコンの位置は通常より高い位置、ほぼ顔の高さにモニターが来るよう台の上におくなどすることが有効と考えられます。



高さ調整にはスタンドが有効(画像出典:Amazonより)

## ・受講者が視聴している画像について

講座の内容によっては、スライド(パワーポイント)や資料などをモニターに表示させることがよくあります。その度に講師は画面を共有画面に切り替えたり、講師カメラに切り替えたりすることになります。

講義に集中するあまり、実際に送信されている(受講者が見ている)画面が、今現在の講師のモニターの画面と一致していないこともよくあります。そうすると、講師の説明と画面が一致しない、受講者が内容を把握できない、という混乱が生じることになります。

受講者からの指摘で気づくこともありますが、できれば、もう一台、サブ・コンピューターを用意して、どのような画面を受講者が見ているのか確認できるようにしておくといでしょう。

## 2. 画面操作について

講師は説明に必要なスライドや資料を画面上で切り替えて表示させることになります。これはネットでもリアルでも同様ではありますが、画面共有の操作やスライドの移動、資料の提示など、操作方法はやや複雑になってきます。

スライドの移動などでうっかりパソコンの操作を誤らないようにするためには、専用のポインターなどを

利用し、キーボードに触れず手元のボタン操作でスライドを切り替えるようにすると誤操作を防ぐことができます。

### 3. 印象の良い映像づくり

多くの人が参加するセミナー・研修です。また、受講料を負担しているという点では通信内容そのものがコンテンツであり、商品として品質が求められるとも考えられます。

カメラの解像度や照明の使い方、マイクロフォンの音質などは、面談以上に気を配る必要があります。当初はどの製品も入手が困難でしたが、現在では通販サイトで比較的容易に入手できます。

### ■運用方法について

セミナーや研修をウェブで実施する場合、会場で直接対面して行う場合とは異なる留意点が存在します。特に、受講者がある場にはいず、それぞれの自宅や職場で接続しているという点は、通常のセミナー・研修のような緊張感が得られにくいということです。こうした背景から、ウェブ方式特有の運営上の工夫が必要となります。

#### 1. 受講者のマイク・カメラについて

原則として講義中の受講者のカメラは「オン」が望ましいでしょう。講義に対して集中してもらう意味でも、講師から受講者の様子が見えるようにしてもらうよう講義前に確認をしておきます。逆に、マイクは「オフ」を原則とします。受講者の周辺には思わぬ雑音を生じさせるもの、また、会社内で接続していると事務所での会話が聞こえることもあり得ます。受講者側の秘密の保持のためにも質問時以外はオフにしておくようお願いをしておきます。

ソフトによってはホストでコントロールも可能ですから、事前にテストをする際に操作の練習をしておくとい良いでしょう。

#### 2. チャットの活用

講義の途中で疑問が生じても、これまでのリアルなセミナー・研修では発言を控えることもあったかもしれませんが。講義のあとに質疑応答の時間をとって、講義中に生じた疑問を忘れてしまうことあるでしょう。チャットによって随時、意見や質問を発言してもらうようにし、あとで回答するなどすることで、受講者の参加が容易になることが考えられます。

ただし、講師は講義中、あまりチャットに気を取られないようにしたほうが良いでしょう。

### 3. 注意力・集中力の持続

リアルなセミナー・研修とは違い、受講者はそれぞれの自宅や自社の一室から接続しています。集中力を欠く要因は多くなり、そのままでは受講の質の低下が懸念されます。

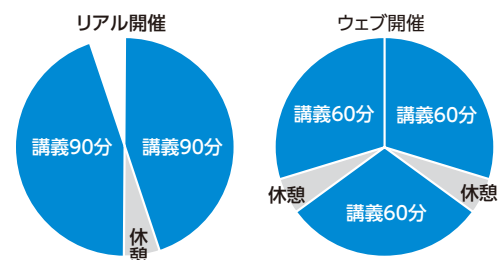
そのための対策として「対話の活用」が挙げられます。参加者に対して積極的に語り掛け、質問をすることで講義への集中力が高まります。質問の内容は比較的軽いものでも構いません。理解度を試すわけではなく、注意を講義に向けるためのきっかけと理解すればいいでしょう。以下のように講義内容を質問に展開するようなイメージでとらえてください。質問は、誰かを特定し指名したほうがよいでしょう。

「4Pの最初のPはプロダクト、すなわち『製品』のことです。〇〇さんの会社はどのような製品を作っていますか?」

「工場の生産性を高める活動として『5S』を活用する企業が多くあります。〇〇さん、たとえばどのような具体的な活動があると思いますか?」

### 4. 休憩時間

リアルな講義と異なり、受講者が積極的に参加することが少なく、講義は視聴のみになりがちです。そのため、講義が長くなると疲れや飽きが生じることが懸念されます。通常の講義よりも時間を短めにして、休憩は多めに取るようにしたほうが良いでしょう。全体の時間も、内容に対してやや長めの想定をしておく必要があります。



リアル開催で3時間のセミナーであれば1回の休憩で十分ですが、ウェブ開催の場合60分毎に10分程度の休憩が必要です

### ■そのほか

セミナー・研修の実施を検討しているのであれば、まずは何度か受講してみることをお勧めします。主催者と受講者の両方の視点で受講を体験してみると、どこに工夫が必要か、どのように運営しているか、また、どのような点に受講者としての不満や不足が起こりうるか、などが見えてくることでしょう。また、印刷教材の配布の方法や著作権・ノウハウの守り方なども参考にしたいと思います。

## ただいま修行中

## 《第5回》中小企業の経営者に寄り添うコンサルタントに

西口 竜司 さん

今回ご紹介する方は、すでに弁護士として活躍中の西口竜司さんです。このたび、経営者に寄り添うコンサルティングができるようにと、新たに中小企業診断士としても歩み始めたところです。



—— 弁護士を続けてこられ、なぜコンサルタントの勉強をしようと考えたのでしょうか

私の場合、多くが中小企業の債権回収や契約に関連する事件が多いですね。あと、会社の破産手続きを取り扱うこ

ともあります。

経営者の方が抱える問題や悩みなどを、法律によって解決しているわけですが、自分自身の実感として、これで本当に経営者の悩みを解決できているのだろうか、といつも考えていました。法律の専門家としてのアドバイスはできますが、やはり経営のことを深く理解しないことには、本当の解決の道を示してあげられないのではないかと、ずっと考え続けていました。

—— 資格を取ろうと思ったきっかけがあったのでしょうか

はい。経営の勉強になると思い、ある中小企業診断士の方が主催するセミナーを受講したのですが、そのときの講師の方のスキルや高い視点など、「プロのすごさ」に圧倒され、自分との差に愕然としました。それで、ぜひとも本格的に経営の勉強し、その証として資格を取ろうと考えたのです。

—— 資格を得ることで経営の知識は十分身についたわけではありませんか

確かに、知識としては身につきましたが、実務補修を経験して感じたのは「力不足」でした。実際に経営者の方の問題解決にあたるためには、知識だけでは足りません。問題を整理し頭在化させ、真の原因を探って最適な解決策を考えて提示するには、コンサルタントと

してのスキルが欠かせないと考えました。それで、プロコン育成塾に申し込みました。

—— 受講してみた感想はどうか

社会人になると、誰かから「ダメ出し」をされるということがほとんどなくなります。自分では気づかない課題が、講師の方々の指導でよく分かるようになりました。

面談では、コンサルタントとしての事業プランを評価してもらうのですが、まだ見えてない点、考え方の甘さなどを厳しく指導してもらっています。あと、コンサルタントとしてのスキルについても。たとえば、弁護士の仕事も「書く仕事」がたいへん多いのですが、今まできちんと指導を受けたことがありませんでした。言葉の使い方や表現の仕方、「漢字」にするか「かな」で書かなど、本当に細かく丁寧に、厳しく指導をしてもらっています。日々、学ぶことばかりです。

—— 今の目標を聞かせてください

自信を持って「コンサルタント」を名乗れるようになりたいですね。経営者の方に信頼してもらい、法律に絡む問題だけでなく経営全般に関する問題や悩みに対して、納得してもらえ解決ができるようになりたいと考えています。

今は、日々学んだことを仕事に応用し、経験を積んでいくことだと思っています。

## 【プロフィール】

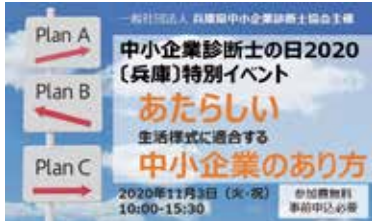
1973年9月生まれ、大阪府出身。同志社大学法学部法律学科卒業。甲南大学法科大学院修了。兵庫県弁護士会所属。辰巳法律研究所専任講師、兵庫県立大学会計研究科非常勤講師、高野山大学大学院非常勤講師。主要著書「ステップアップ企業法入門」／中央経済社等多数。SASUKE本戦出場経験有り。

## 中小企業診断士の日

## 兵庫特別イベントが開催されました

2020年11月3日(火・祝)

「あたらしい生活様式に適合する中小企業のあり方」をテーマに、本年は特に、イベントメニューを大阪府中小企業診断協会と共有する初めてのオンライン、コラボ企画となりました。



前半は兵庫のコーナー、後半は大阪、その合間には、近畿ブロック(兵庫・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山・福井)の協会長が全員顔を合わせたパネルディスカッションが開かれ、もりだくさんの充実したイベントになりました。

	開会あいさつ	会長 湯浅伸一
コロナ対策	コロナ禍の緊急事態宣言を受けて開業3年目飲食店経営者は何を考え、どう行動したか	田口雅樹 X alfo1997オーナー-Sakai
支援事例	はばたく!輝く!熱くなる! ひょうごの中小企業—その現場から!	鳥生明美 X 中小企業・小規模企業 社長
支援事例	いまだから考える事業承継! ~親族承継以外の選択肢	瓶内栄作 X 神戸市産業振興財団
支援事例	Withコロナ時代!新しいビジネスチャンスを探ろう!	堂山一成
コロナ対策	まだ間に合います!コロナ禍に役立つ補助金活用	脇岡直美
PDCA	目標管理実践編!!診断士が本気でダイエット計画を立てたらどうなった?	上田育功
経営デザインシート	激動の環境変化に立ち向かう! 未来を描く「経営デザインシート」の創り方	大西真由美
BCP	使えてますか。そのBCP	稲垣裕行
初開催	近畿ブロック・協会長によるパネルディスカッション	近畿ブロック 中小企業診断士協会会長

スケジュール

兵庫のコーナーでは、8名によるショートセミナーが配信され、現在は一部YouTubeで公開中です。



ショートセミナー

瓶内 栄作: 中小企業診断士の日イベント実行委員長

実行委員の皆さんと手探りの企画でしたが、多彩な活動を硬柔とり混ぜて伝えることができました。

## ■大阪とのコラボについて

オンライン開催ならではの協会をまたいだリレー形式は、近畿ブロックが連携したイベントを実現でき、意義がありました。

## ■近畿圏の会長勢ぞろいのパネルディスカッションについて

近畿ブロック各協会の地域性を背景にした話題提供があり、近畿の中小企業を取り巻く環境が伺えました。感染対策をとりながら主催された大阪府中小企業診断協会に感謝します。

## ■今後の展開

ニューノーマル時代として、オンラインイベントが今後広がっていくことをふまえ、中小企業診断士ならではの強みを活かした情報提供を形式にとらわれずに実施し、中小企業診断士の認知度向上と、魅力の訴求に今後も貢献したいと考えています。

## ニュース

## NEWS

## ■令和2年度新入会員ガイダンスを開催

令和2年9月5日、神戸市産業振興センターにて「令和2年度新入会員ガイダンス」を開催しました。当日はコロナウイルス感染症対策として規模を縮小、各委員会代表、事務局長より当協会の活動を紹介しました。

## ■ものづくり&amp;SCM研究会がオープンセミナーを開催

当協会の研究会であるものづくり&SCM研究会が、令和2年10月3日、兵庫県民会館にてオープンセ

ミナーを開催しました。講師には経済産業省製造産業局金属課の蓮池智哉課長にご登壇いただき、今後の経済展望や政策についてお話しいただきました。

## ■協会公式YouTubeチャンネルを開設

展示会やイベントの様子、協会PR動画などを身近にご覧いただけるよう、当協会の公式YouTubeチャンネルを公開しました。動画視聴には、YouTubeで「兵庫県中小企業診断士協会」を検索、またはQRコードからアクセスください。



## 委員会報告 10月～12月

### ● 広報委員会

委員会開催日	主な議題
10月20日(火)	・新委員参加の件 ・診断ひょうご新年号の企画の件 ・国際フロンティア産業メッセ報告の件 ・中小企業診断士の日の実施の件 ・企業診断ニュース掲載記事の件 ・公式サイト運営の件
11月24日(火)	・本年度活動総括の件

本年度、新たに2名の委員が参加することになりました。来年度に向け、協会の公式パンフレットの企画を検討中です。

### ● 受託委員会

委員会開催日	主な議題
10月14日(水)	今年度未受託実績予測について
12月9日(水)	今年度未受託実績予測について

令和2年12月での今年度受託予想金額は、5千5百万円強を予測しております。これはひとえに会員皆様のご協力を受けての賜物であると考えております。今後も新規事業を受託してまいりますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### ● 総務委員会

委員会開催日	主な議題
10月6日(火)	理論政策更新研修の振り返り、経営診断実務従事、新年会の企画、中小企業診断士の日、来期総務委員会体制
11月2日(月)	中小企業診断士の日の報告、来期理論政策更新研修、経営診断実務従事、協会規程の見直し
12月1日(火)	来期理論政策更新研修、経営診断実務従事、総会準備、協会規程の見直し

事務サービス及び慶弔規程の見直しを実施しました。

### ● 会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
10月26日(月)	・スキルアップセミナーの進捗状況の確認 ・オープンセミナーの企画立案
11月24日(火)	・スキルアップセミナーの進捗状況の確認 ・オープンセミナーの企画立案 ・研究会の状況調査

コロナウィルスの影響で各種セミナーの開催が難しい一年でしたが、スキルアップセミナーを無事に開催することができました。また、中小企業診断士の日のイベントについては、他府県協会とも連携しながら、多くの参加者を得て開催できました。

## 今後の予定

### セミナー

日時	場所	テーマ	講師
1月23日(土)	Web開催	中小企業診断士祭“Wasshoi”	調整中

※連絡先：代表 伊藤 康雄 ito@clrstm.co.jp

## 研究会スケジュール

問い合わせ先：078(362)6000

コロナウイルス感染症対策のため、今後、大幅な予定変更が考えられます。念のため、開催日程については各研究会にお問い合わせください。

### ● 診断技術向上研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月14日(木)	神戸市産業振興センター906号室	「事業承継について」	太平工材株式会社 代表取締役 平位 稔之氏

※開催日：原則第2木曜日 時間：18:30～20:30  
※連絡先：代表 楠田 貴康(くすだ たかやす) tkusuda2002@gmail.com

### ● ものづくり&SCM研究会

日時	場所	テーマ	講師
3月6日(土)	兵庫県民会館	SCMに関する内容	講師調整中

※開催日：原則第1土曜日 時間：14:30～17:00(1、5、8、12月除く)  
企業内・独立問わず、幅広い情報交換を目指し、現場見学も取り入れています。  
※連絡先：三村 光昭 QZE02753@nifty.com

### ● HOO経営研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月19日(火)	神戸市勤労会館404号室	コロナショックと中小企業の勝ち残り対策	伊藤勢津子氏 中島和樹氏
3月16日(火)	神戸市勤労会館404号室	コロナショックと中小企業の勝ち残り対策	寺田茂樹氏 加藤慎祐氏

代表 福島 繁 ※開催日：原則奇数月第3火曜日 時間：18:30～20:30  
※連絡先：加藤 慎祐 MLD11291@nifty.com

### ● プロコンスキル研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月11日(月祝)	神戸市産業振興センター	支援事例等による実践スキルの研鑽	松尾健治氏 川崎ますみ氏

※開催日：原則奇数月の第2月曜日 時間：18:30～20:30  
※連絡先：橋本 祐樹 y-hashimoto@t-keiei.jp  
(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限りです)

### ● HRM研究会(Human Resource Management 人的資源管理)

日時	場所	テーマ	講師
不定期	Web会議		

※開催日：原則第1火曜日 時間：19:00～21:00  
※連絡先：瓶内 栄作 e-kameuchi@plus-logista.com  
※本年度は不定期開催(オンライン主体となっております。)

### ● 地域産業活性化研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月6日(水)	神戸市産業振興センター804号室	加東市観光調査&商工会議所向け企画の検討	研究会全員
2月3日(水)	神戸市産業振興センター804号室	加東市観光調査&商工会議所向け企画の検討	研究会全員

※開催日：原則第1水曜日 時間：18:30～20:30 ※今年度の募集は締め切りました  
※連絡先：代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp

### ● 青年部会

日時	場所	テーマ	講師
1月12日(火)	神戸市産業振興センター or Web会議	①「コロナ禍を生き残る飲食店経営」 ②情報共有&議論	①吉川祐介氏 ②全員
2月1日(月)	神戸市産業振興センター or Web会議	①未定 ②情報共有&議論	①未定 ②全員
3月1日(月)	神戸市産業振興センター or Web会議	①未定 ②情報共有&議論	①未定 ②全員

※開催日：原則第1月曜日 時間：19:00～21:00  
※連絡先：青山 雄一郎 aoyama@kig.blue ※参加資格:49歳以下の会員

### ● Shobai Lab.(商業研究会)

日時	場所	テーマ	講師
1月21日(木)	(株)けいせいまち事務所	支援事例紹介	研究会員
2月18日(木)	(株)けいせいまち事務所	支援事例紹介	研究会員

※会場所在地：西宮市馬場町3-20-2F(最寄り駅：阪神西宮)  
※開催日：毎月第3木曜日 時間：18:30～21:00(8月は日程変更の可能性有)  
※連絡先：代表 木之下 尚令 info@ut-mana.jp

### ● 事業性評価研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月25日(月)	神戸市勤労会館406号	中小製造業支援について	斐山孝嗣(会員)
2月2日(月)	神戸市勤労会館(予定)	会員による支援事例発表(予定)	未定
3月22日(月)	神戸市勤労会館(予定)	来期の活動の検討(予定)	会員全員

※開催日：毎月第4月曜日 時間：18:30～20:30(4、8、12月除く)  
※連絡先：代表 西口 延良 ANC11775@nifty.com

※各スケジュールは変更になることがあります。

## 編集後記

「あー、牛！」食後すぐゴロ寝する私を指差し娘が言う。Go To Eatで普段は手が出ない美味しいブランド牛を頂き、私の食欲、体重は俄然右肩上がりだ。在宅ワークが普及し日々の運動量が減っている今こそ、健康習慣を見直すべきタイミングなのだろう。今年は丑年。トットと娘に笑われぬよう新年の決意を新たに、皆の笑顔あふれる一年を祈念する。(清)